

日本最南端の大自然と文化のまち

たけとみちよう

竹 富 町



市町村コード	473812	類型	I-O
所在地	〒907-8503 石垣市美崎町11番地1		
T E L	0980(82)6191	F A X	0980(82)6199
ホームページ	http://www.town.taketomi.okinawa.jp		
指定地域	離島・過疎・辺地・農山村・農業振興・産業高度・観光促進		

〈組織〉

(平成31年3月31日現在)

町長	にしおおますこうじゅん 西大舩高旬 任期 H32.9.13 (1期)	副町長	まえかがわけんいち 前鹿川健一 任期 H32.9.30 (1期)
副町長	- - 任期 - -	教育長	なかだもりかず 仲田森和 任期 H33.9.30 (2期)

〈概要〉

県下 1 位			
総面積 H30.10.1	耕地 H30.7.15	宅地 H30.1.1	
334.40 km ²	2,060 ha	1,793,456 m ²	

県下 29 位			
住基人口 H30.1.1	H27国調人口	H22国調人口	
4,270 人	3,998 人	3,859 人	
年少人口割合 17.2% (県全体 17.2%) 高齢化率 20.2% (県全体 19.6%)			

住基世帯数 H30.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数	
2,430 世帯	2,122 世帯	2,000 世帯	

有権者数 H31.3.1	男	女	
3,526 人	1,829 人	1,697 人	

議長	にしたながお 新田長男	副議長	だいくけんいち 大久研一	
議員	条例定数	現議員数	任期満了日	
	12	12	H34.9.27	
	常任委員会	党派構成	公明	無所属
	総務財政、経済、議会議運営	1	11	- - - - - - - -

沿革

明治41年4月1日	勅令(46号)をもって八重山村を設置
大正3年4月1日	八重山村より分離村制施行
昭和23年7月2日	町制施行
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H22～H31	中长期財政計画	無
基本計画	H27～H31	(-)	(-)
実施計画	H28～H30	(3年計画)	(3年ローリング)

〈町の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

町花	月桃(サミン)	町木	イヌマキ(キヤージ)
町鳥	アカショウビン	町魚	カスマアジ(ガーラ)
名所・旧跡	竹富島の町並み、マリユウドの滝、伊古枝橋、日本最南端の碑、由布島の水牛車、サキシマスオウの木		
祭り、行事	節祭、ムシヤーマ、結願祭、種子取、豊年祭、牛まつり、やまねこマラソン、鳩岡島音楽祭		
名産・特産	黒糖、黒毛和牛、もちきび、モズク、アーサー、ミンサー織り、マンゴー、パイン、泡盛、水稻		
姉妹都市	北海道斜里町(昭和48年1月盟約)		
その他	山中貞則胸像(名誉町民)、西表石垣国立公園、イロモテヤマネコ(特別天然記念物)		

〈平成31年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	波照間島観光関連事業	継続	70
補助	西表東部レクリエーション施設	継続	204
補助	製糖業体制強化対策事業	新規	787
単独	竹富町地区農道整備事業	新規	69

〈広域市町村圏・広域計画〉

〈基地面積〉 (H30.3末)

八重山広域市町村圏	米国軍	
-	基地面積	0.0 ha
-	市町村面積に占める割合	-
-	自衛隊	
-	基地面積	0.0 ha
-	市町村面積に占める割合	-
-	合計	- ha
-	県面積に占める割合	-

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	県営水利施設整備事業	H29～H33	1,160
補助	西表島パイン集荷場建設工事	H30～H32	417
補助	加屋真島観光関連事業	H29～H33	518
補助	東部第1地区簡易水道施設整備事業	H28～H32	2,379

《教育》 (平成30年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
町立幼稚園	3園	64人
町立小学校	11校	307人
中学校	9校	101人
町立	9校	101人
町立以外	0校	0人

《医療》 (平成29年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
町立	0箇所	0床
町立以外	0箇所	0床
診療所	9箇所	0床
町立	4箇所	0床
町立以外	5箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

《産業》 ①産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	349人	16.5%
第2次	112人	5.3%
第3次	1,651人	78.2%
合計	2,112人	100.0%

②町内総生産 (H27年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	1,095	6.8%
水産	169	1.0%
鉱・製造	920	5.7%
建設	2,349	14.6%
電気ガス水道廃棄物	197	1.2%
運輸・郵便・通信	330	2.0%
卸売・小売	1,024	6.4%
金融保険不動産	1,406	8.7%
宿泊・飲食サービス	2,631	16.3%
専門・科学技術支援	1,052	6.5%
公務・教育	2,414	15.0%
保健衛生社会	467	2.9%
その他サービス	2,071	12.8%
合計	16,125	100.0%

《福祉》

区分	施設数	収容定数
保育所(H30.4.1)	-箇所	-人
町立	7箇所	0人
町立以外	0箇所	0人
生活保護率(H29年度平均) 人口千人当たり		8.7人

《財政》

①決算収支 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度
歳入総額	6,133	6,706	6,945
歳出総額	5,668	6,230	6,723
形式収支	465	476	222
実質収支	410	359	182
比率	13.1%	11.2%	5.5%
積立金	191	310	300
積立金取崩額	0	0	0
実質単年度収支	365	258	201

②主要指標 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財力指数	0.15	0.16	0.16	30	0.37	0.53	0.31
標準財政規模 a	3,137	3,201	3,308	24	8,354	22,703	3,092
経常収支比率	78.0	76.3	84.6	15	87.2	88.0	85.1
人件費	27.9	28.3	29.2	30	23.1	22.3	25.4
扶助費	2.0	2.5	2.1	8	15.4	18.3	8.1
公債費	15.4	13.6	19.6	35	14.4	14.7	13.5
物件費	26.0	24.0	25.7	40	14.5	14.0	15.7
その他	6.7	7.9	8.0	3	19.8	18.7	22.4
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	4.7	4.3	4.8	7	8.0	8.6	6.4
将来負担比率	-	-	-	-	27.1	43.8	-
税徴収率	91.5	91.6	91.8	34	96.6	96.8	95.9
現年課税分	97.7	96.5	97.2	35	98.7	98.8	98.6
滞納繰越分	23.0	20.0	24.0	34	37.8	39.3	33.6
債務負担行額 b	0	0	523	-	-	-	-
b/a %	0.0	0.0	15.8	-	-	-	-
地方債現在高 c	6,103	6,302	6,633	-	-	-	-
c/a %	194.6	196.9	200.5	31	-	-	-
積立金現在高	4,253	4,834	5,231	-	-	-	-
財政調整基金	1,399	1,709	2,009	-	-	-	-
減債基金	608	658	630	-	-	-	-
その他特目基金	2,246	2,467	2,591	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	109,823	109,725	119,447	28	-	-	-
自主財源比率	20.9	20.5	20.4	33	-	-	-

③公営事業会計等における繰入金の状況 (H29年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入
国民健康保険事業	70	88	11
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	5	104	-
後期高齢医療事業	1	17	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
法非適			
簡易水道事業	29	83	7
下水道事業	3	19	12
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適			
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0

④歳入の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	510	7.3%
地方譲与税	32	0.5%
地方交付税	2,836	40.8%
普通交付税	2,577	37.1%
特別交付税	259	3.7%
国庫支出金	437	6.3%
県支出金	1,156	16.6%
地方債	979	14.1%
その他	995	14.3%
歳入総額	6,945	100.0%

④歳出の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	1,113	16.6%
物件費	1,363	20.3%
扶助費	230	3.4%
補助費等	514	7.6%
公債費	695	10.3%
普通建設事業費	1,850	27.5%
補助事業費	1,296	19.3%
単独事業費	530	7.9%
その他	958	14.2%
歳出総額	6,723	100.0%

《行政の特色》

日本最南端に位置し、国内最大のサンゴ礁群である石西礁湖の海と、西表島の山河など亜熱帯の雄大な自然環境に恵まれ、東西約42km、南北40kmの広範囲に点在する16の島々からなる島嶼の町です。日本最南端の町として、日本の排他的経済水域に寄与するなど、地理的にも特徴のある町であります。「住民の利便性確保と行政サービスの維持」、「協働と協調のふるさとづくり」、「持続型社会の実現に向けたふるさとづくり」、「愛着と誇りを共有できるふるさとづくり」の4つの基本目標と7つの基本政策を柱として、町民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進している。